稲作情報No.3

令和４年６月21日

滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課
（東近江農業普及指導センター）

「みずかがみ」の穂肥時期です！

４月下旬～５月上旬植で６月２５日頃から

６月中旬時点では、平年並の生育となっています。
幼穂長1mmが施用時期の目安です。
ほ場ごとに幼穂を確認して遅れずに施用しましょう。

＜穂肥施用の基準＞

分施体系	窒素成分で3kg/10a(**大豆跡**：1.5～2.1kg/10a)程度施用してください。
基肥一発体系	原則不要です。 現在、茎数が25本以下の場合は、窒素成分で2kg/10a程度施用してください。

○環境こだわり基準（化学肥料成分4kg/10a以内）を順守してください。

○玄米タンパク質含有率が上昇し、食味低下につながることを避けるため、穂肥は遅れずに施用しましょう。

＜今後の水管理＞

○出穂期前後は水稲が最も水を必要とします。出穂前後の各3週間を常時湛水することで玄米品質低下を軽減できます。

○基肥一発体系のほ場でも**幼穂形成期に入水しましょう。**
なお、環境保全型農業直接支払交付金で「長期中干し」を選択されている場合は、14日以上の中干しを確保してください。

◎熱中症に注意！

農作業中は、こまめな塩分・水分補給や休憩を行い、健康管理には十分注意するよう心がけましょう。